

授業科目名 科目ナンバー	授業担当者(担当) 氏 名	区分	単位	年間授業 時 間	受講 学年	開講年次
重奏研究Ⅰ 1-C-1-01	田部 京子 銅銀 久弥 川久保 賜紀 近松 博郎 山本 貴志 他	必修	4	(シラバス参照)	1/2	1/2
重奏研究Ⅱ 2-C-1-02						

【授業の概要】

学生および指導教員との共演による室内楽レッスン、重奏研究コンサート等の演奏会出演。

【到達目標】

バロックから現代に至る重奏作品をテキストとする「演奏の様式性の獲得」および「アンサンブル技術の獲得」について、高度な演奏表現の修得ができるようになる。

【履修方法】

1. 「重奏研究」の履修形態を以下のとおり定める。年度当初の研究計画をもとに、合わせて4単位を修得すること。

〔履修形態〕

☆ピアノ

- ・ 弦楽器の学生(あるいは教員)との組み合わせによるレッスンを受講] ……………1 単位/8 時間
- ・ ピアノの学生同士の組み合わせによるレッスンを受講] ……………1 単位/8 時間
- ・ 「重奏研究コンサート」又は「研究科委員会により認められた本学主催のコンサート」に出演 ……1 単位/1 公演

☆弦楽器

- ・ ピアノの学生と弦楽器の学生(あるいは教員)との組み合わせによるレッスンを受講] ……………1 単位/8 時間
- ・ 弦楽器の学生(あるいは教員)同士の組み合わせによるレッスンを受講] ……………1 単位/8 時間
- ・ 「重奏研究コンサート」又は「研究科委員会により認められた本学主催のコンサート」に出演 ……1 単位/1 公演
- ・ アカデミー・オーケストラ演奏会に出演 ……………1 単位/1 公演

2. 編成については、入学後のオリエンテーション時に調整する。調整は、学生個々の意向や研究計画をもとに、その意思を尊重しつつ、教員が行う。

3. 特に理由のある場合には、関係者(当該学生および教員)で協議の上、組み合わせの変更を認めることもあり得るものとする。その際は、その旨を速やかに研究科長あてに書面により提出するものとする。

4. 重奏研究コンサートへの出演については、担当教員の承認を得ることを前提とする。

5. アカデミー・オーケストラ演奏会(年間行事予定表に記載された「定期演奏会」または「特別演奏会」)への参加にあたっては、所定のエントリー方法に従って登録を行うこと。

6. 各履修形態で定められた時間数等を超えて研究を行うことは可能であるが、修得できる単位数は 4 単位(必修)までとなる。

【授業計画】

オリエンテーション(個別面談)時に、学生個々の研究計画書に基づいた年間計画を相談の上、調整する。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

1・2年次生。再履修:可。

【授業の形式】

実技レッスン、コンサート等への出演

【成績評価の要点】

演奏発表および授業内での研究成果の発表 60%、受講姿勢 40%

成績は、上記の項目についてそれぞれの配分で総合的に判断し、「合格」又は「不合格」の表記とする。

【課題(試験・レポート等)に対するフィードバック方法】

課題に対しての到達度と成果について、担当教員のコメントを基に研究を進める。

【事前・事後学習、必要時間】

与えられた楽曲などの課題を技術的かつ音楽的に理解し修得できるよう、個人また共演者と共に練習する。

レッスン後には修正点や、今後の課題について確認し、復習する。

事前、事後学習に必要十分な時間を設定する。

【教材】

選択した室内楽曲のパート譜と総譜

【授業時間以外で、この授業内容等について質問がある場合】

レッスン時間前後。事前に担当教員へアポイントを取ること。